



子吉川の白鳥



白鳥はシベリアで繁殖し、冬季は温暖な日本などで越冬する大型の渡り鳥です。シベリアは日中でも気温が氷点下になり、餌場が氷に閉ざされてしまうため、晩秋から初冬になると日本などに飛来します。

冬の使者である白鳥は自然豊かな子吉川にも毎年飛来しています。2月9日の河川のパトロールでは100羽ほどの白鳥が確認できました。この時期は、タイミングがよければ川の水草を食べたり、田んぼで落穂をついばむ姿を見ることができます。

鳴き声が聞こえ空を見上げたら、V字になって飛ぶハクチョウの姿。という光景を見たことがある方も多くいらっしゃると思います。Vの字飛行は、安全で省エネ飛行なんだそうです。前を飛ぶ鳥の斜め後ろに良い気流ができて、その気流に乗ると自然にV字形になり、あまり力を使わず楽に飛べるのだそうです。全員が飛び続けられるように一番負担のかかる先頭は交代しながら飛んでいきます。

この冬の使者がシベリアに帰る頃、子吉川にも春がやってきます。



飛鳥大橋上流にて



鮎川下流にて

白鳥は絆がとても強い鳥で、幸せを引き寄せるエネルギーが宿しているとも…



冬期間も河川パトロールをしています

冬期間の河川パトロールは、積雪の状況に応じて堤防や橋の上から河川や堤防の異常、危険な河川利用、不法投棄の発見、水路や河川への油等の流出の有無の確認などを目的に行っています。

特に冬期間は、油などの水質事故が増える傾向にあります。実際に今年度も「屋根からの落雪によってホームタンクが破損して油が流れ出た」「ホームタンクからポリタンクに給油した際に、コックを完全に閉めていなかったため油が漏れた」など、油漏れの報告が増えています。今一度、ご確認をよろしくお願いいたします。



子吉川出張所パトロールカー

2月13日の福島県沖の震度6強の地震では、前郷地区で震度4、本荘地区で震度3の揺れが観測されました。

その地震をうけ、子吉川管内では堤防巡視を実施し、安全を確認しております。

突然の災害情報にドキッ!としますが、いつ起こるか分からない災害です。あわてず行動できるように普段から防災・備災の意識をもつことが大切!!と再認識させられます。

防災について確認しあいましょう。

【川の防災情報】URL



◇パソコンから→<http://www.river.go.jp/>
◇携帯電話から→<http://i.river.go.jp/>

◎ご意見・問い合わせ先 子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当

由利本荘市石脇字田尻29 電話 0184-22-6360

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>

【秋田道川情報STATION⇒(上部タグ)事務所⇒出張所ホームページ⇒子吉川出張所】

または「子吉川出張所」で検索⇒ようこそ!子吉川出張所ホームページへ!をクリック